

ウェスタンカロライナ（アメリカ合衆国）大学留学報告

派遣大学

ウェスタンカロライナ大学

所 属

English Department

国 名

アメリカ合衆国

留学期間（学期についても記入ください。例：Fall Semester）

2019年8月～2020年5月（Fall 2019 and Spring 2020）

1. 派遣大学について（設立年・学部等の概要，環境等について記入ください。）

設立年・学部等の概要，環境等

ウェスタンカロライナ大学は元々、教員養成大学として設立され、現在は総合大学として幅広い分野のプログラムを提供しています。学生数は約12,000人と、アメリカの州立大学としては比較的小規模ですが、その分学生と教員の距離感が近く、授業は少人数で行われます(多くても20人程度)。ウェスタンの教員は学生に対して協力的な方が多く、学業に関する相談もしやすいです。留学生に対するサポートも手厚く、学業面や生活面で何か困ったことがあれば International Office が対応してくれます。

ウェスタンカロライナ大学のキャンパスは山の中に位置しており、キャンパスの周りに飲食店や娯楽施設はありません。そのため、出かけた場合は車を持っている友達に頼まなければいけません(現地学生のほとんどは車を持っています)。キャンパスから車で15分ほどのSylvaという町にはファストフード店やカフェ、銀行や映画館、ウォルマートなどがあります。このような環境のため不便のように聞こえるかもしれませんが、キャンパス内には食堂が2つ、スターバックスが2つ、その他レストランやファストフード店があり、普段生活するうえで不便に感じたことはありませんでした。

留学地域の良い点，悪い点

上述したように、キャンパスの周りに飲食店や商業施設はほとんどありませんが、自然が豊かで、周りにはハイキングコースや滝などがたくさんあります。キャンパスから車で40分ほどの距離に世界遺産のグレート・スモーキー山脈国立公園があり、アパラチアン・トレイルも歩くことができます。自然豊かなキャンパス内ではよくリスや野うさぎなどを見かけ、とても癒されます。

悪い点としてはやはりキャンパスの周りに娯楽施設などがないことが挙げられます。事前にその情報を知っていればあまり驚きはありますが、にぎやかな環境を期待するとうっかりするかもしれません。

2. 私の体験談

在学中にアメリカのポリティカル・コレクトネス(政治的・社会的な正しさ)文化を強く実感した出来事をお伝えします。

アメリカで大学の教授や職員の方とメールのやりとりをして気づいたことなのですが、アメリカではメールの最後に自身の座右の銘などを記すことが多いようです。大学に到着してすぐの頃、大学の女性の職員の方とメールのやりとりをしていると、メールの最後に“she/her/her”と記されていることに気がつきました。なぜ代名詞が書かれているのだろうと少し不思議に思いましたが、その時はあまり気に留めませんでした。しばらくして大学の授業が始まったのですが、ある授業の初回のクラスで担当の教授が学生のことを知るために、一人一人に紙を配り、そこに名前や出身、授業に関する質問などを書くように指示しました。そして最後に教授が“Please write your preferred pronouns on the back of the sheet”(「紙の裏に自分が希望する代名詞を書いてください」)と言いました。それを聞いて私は、職員の方とのメールのやり取りを思い出し、教授が意図していることを理解しました。英語では頻繁にHeやSheなどの代名詞が使われますが、セクシャルマイノリティへの配慮のため、教授は事前に自認する性に対応した代名詞を受講生全員に確認していたのでした。私は日本語の会話ではあまり「彼」「彼女」などの代名詞を使用しないためか、これらが知らず知らずのうちにセクシャルマイノリティの方を傷つける可能性を孕んでいることを今まで意識したことがありませんでした。また、大学の寮にはユニセックスのトイレがあったりと、セクシャルマイノリティへの配慮があらゆる場面で見られました。そのような大学全体での取り組みもあってか、自分の性に対してオープンな学生が多く、授業のディスカッションなどで自分は同性愛者であるなどの発言を聞くこともあり、周りの学生も驚くような素振りはいっさい見せていませんでした。アメリカでは「他人は他人、自分は自分」という個人主義が強く根付いているためかもしれませんが、他者との違いを認め、尊重するという雰囲気大学全体に醸成されていると感じました。

3. ある1日のスケジュール

7:30 起床
8:00 朝食
8:30~10:00 予習
10:00~11:30 授業
11:30~13:00 予習・復習
13:00~14:00 昼食
14:00~15:30 授業
15:30~20:00 予習・復習、課題
20:00~21:00 夕食
21:00~24:00 予習・復習、課題
25:00 就寝

4. 留学にかかった費用

- ・ 渡航費(往復) 約 23 万円
- ・ 保険 約 10 万円
- ・ 宿舍日・光熱費(謝金) 約 50 万円
- ・ 食費 約 40 万円(ミールプラン)
- ・ 教材費 約 2 万円(購入する必要がある教科書の合計。教科書のレンタルは無料)
- ・ その他(健康保険, 旅行費, 交際費, 服代等) 約 25 万円

5. これから留学を考える後輩へのアドバイス

【留学前】

留学の動機・目的は？

専門であるアメリカ文学を本場アメリカで勉強したいと思ったからです。また、将来高校の英語教員を目指す者として、資格試験などで測られる英語力だけでなく、現地の学生や留学生とのコミュニケーションや授業におけるディスカッションなどを通して実践的な英語力を身に付けたいと思ったことも留学を志したきっかけでした。

いつ留学を決意しましたか？

留学を決意したのは遅く、留学開始の約1年前でした。留学を決意してから初めてTOEFLを受験し、留学申し込みの締め切りの都合上、1回しか受けることができなかったので、留学を希望される方は早めにTOEFLなどの対策に取り組んだほうがいいと思います。

留学する大学を決めた理由は？

修士論文のテーマが「アーネスト・ヘミングウェイの作品におけるネイティブアメリカン表象」なのですが、チェロキー族の居留地が大学の近くにあり、ネイティブアメリカン研究が盛んであるという特色からウェスタンカロライナ大学を選びました。また、自然豊かで落ち着いたキャンパスの雰囲気が勉学に専念するのにぴったりだと思いました。

留学前の語学スキルアップの方法は？

留学を志す前からTOEICや英検などの資格試験を積極的に受けており、ある程度の英語力はついていたので、特別TOEFL対策のための勉強はしませんでした。TOEFLのリーディングパートでは学術的な単語が多く用いられているため、TOEFLの単語帳でボキャブラリーの補強を行いました。留学が決まってからは、日常的に英語の小説や研究書を読むなどして読解力アップを図ったり、Netflixの英語字幕機能を利用して映画やドラマから日常的な英語表現などを身に付ける努力をしたりしました。

留学にかかる費用について、どのように準備しましたか？

- ・申請した奨学金名
鳴門ゾンタクラブ奨学金
- ・採択された奨学金名
鳴門ゾンタクラブ奨学金
- ・奨学金以外での費用の準備方法
アルバイト
- ・その他

留学前の履修や教育実習のことなどに関して、アドバイスをお願いします。

教育実習などの関係で2学期間の留学を志望する場合はほぼ確実に1年卒業・修了が伸びるのではないかと思います。留学前に指導教員や教務課に履修や実習の相談をし、復学後の計画をしっかりと立てておく必要があります。また、留学先で履修した授業を鳴門教育大学の授業の単位に変換することはほぼ不可能なようなので、留学前に卒業や修了に必要な授業は取れるだけ取ったほうがいいと思います。特に通年の授業(教育実践演習)などの履修について注意する必要があります。

査証（滞在許可書・ビザ）の取得はどうしましたか？

アメリカ大使館のホームページで手続きを行い、大阪の領事館で申請を行いました。ホームページの説明をしっかりと読み、説明の通り手続きを進めれば問題はありません。

留学時に必要とされた健康診断・予防接種の種類・回数・費用はどうしましたか？

大学から送られる Immunization Record Form に記載されている予防接種を受けます。新三種混合や B 型肝炎など、人によって必要な予防接種の種類や回数などが異なるため、母子手帳の予防接種の記録を見てどの予防接種が何回必要か確認する必要があります。時間の都合上、日本で受けられない予防接種もあるかと思いますが、足りない分はアメリカの大学に到着後、大学の保険センターで受けることができます。ワクチンの種類によって値段は異なりますが、一本につき 3,000~4,000 円ほどです。

日本から持参するとよいと思われるものは？

日用品などはアメリカで手に入るため、私は必要最低限の物しか持っていきませんでした。私の場合、ノートパソコンと電子辞書が必須でした。パソコンは図書館に誰でも使用できるものがありますが、やはり自分のパソコンを 1 台持っているのが便利です。また、急に雨が降ることがよくあるので、丈夫な日本の折りたたみ傘は重宝します。

その他、日本を出発する前にしておいた方がいいことについて、アドバイスをお願いします。

アメリカで日本のことについて色々聞かれることもあるので、日本の文化や社会状況などを英語で話せるように準備しておくとうよいと思います。

【留学中】

留学先で履修した科目とその履修方法は？

1 週間の平均授業時間数は？

勉強についてのアドバイスをお願いします。

Fall Semester

Academic English for Non-Native Speakers
Literature and the Environment
Contemporary African American Literature
Formalism & American Literature

Spring Semester

Grammar for Teachers
Grammar, Language & Discourse
ESL Methods for Content Teacher
Topics: Language & Culture Lab
Introduction to Peer Tutoring

私が受講した授業は週に 2 回のものとは 3 回のものがありました。アメリカ文学の授業はとにかく予習のリーディングが大量にあり、授業は課題リーディングを読んできた前提で行われるため、読んでこなければ授業の内容がまったくわからなくなり、授業内のディスカッションにも参加することができません。そのため授業期間中はほとんどの時間を課題リーディングに費やしていました。学期途中や学期末にはペーパー試験やテストがあり、特に学期末は授業で取り扱った内容すべてが範囲にな

ることあるため、毎回の授業内容の復習も欠かせません。一度授業についていけなくなるとどんどん遅れていってしまうので、計画的に予習・復習を行う必要があります。私は、毎日予習を行う際にページ数などのノルマを設定して授業についていく努力をしました。

コンピュータ・インターネットの利用環境は？

図書館の地下に Mac と Windows のパソコンが 20 台ほど備え付けられています。インターネット環境については、学内 Wi-Fi があり、キャンパスのどこにいてもインターネットに接続することができます。

留学中、どのようにして現地の学生と交流を深めましたか？

留学中は日本語を学ぶ学生と交流することが多かったです。日本語を学ぶ学生は日本人留学生に対して興味を持っている人も多く、日本語や日本文化といった共通の話題もあるため友達になりやすいです。私は大学のチューターセンターで日本語を教えていたので、自然に知り合いが増えました。

寮・下宿など住居についてはどうでしたか？

留学生は全員キャンパス内の寮に住むこととなります。寮の部屋の種類は様々で、中にはキッチンがついている部屋もあります。ほとんどが 2 人部屋で、1 つの部屋にトイレとシャワーがついているものもあれば、2 つの部屋でトイレとシャワーを共有するタイプのものもあります。私が住んでいた寮は 2 人部屋で、部屋にトイレとシャワーは備え付けられておらず、フロアごとに大きなトイレ・シャワー室が 2 つあるタイプのものでした。

食生活について、アドバイスがあればお願いします。

普段はキャンパス内の食堂やレストラン、ファストフード店で食事をするのがほとんどだと思います。キャンパス内に住む学生はミールプランというものに加入しなければならず、プランは大きく分けて無制限に食堂を利用できるものと回数が決まっているものがあります。それぞれのミールプランにはキャンパス内の飲食店やコンビニで使えるお金がチャージされており、プランによってそれぞれチャージされる額が異なります。食堂にはサラダバーもあり、ベジタリアンメニューなども充実しているため、意識的に野菜を取るようになれば栄養面は問題ないと思います。

服装について、アドバイスがあればお願いします。

キャンパス内ではラフな恰好をしている学生が多く、大学のパーカーを着ている学生を普段よく見かけました。中には寝間着のような服装で授業を受けている学生もあり、何を着ても自由というような雰囲気でした。冬の気温はそこまで低くはありませんが、風が強い地域のため体感ではとても寒く感じます。そのため防寒着は必須だと思います。

習慣の違い、マナー、対人関係などについて、アドバイスがあればお願いします。

習慣やマナーの違いなどで戸惑ったことはあまりありませんでした。ただ、現地の学生は自分の考えや主張をストレートに相手に伝えることが多いので、最初は相手の言い方が少しきつく聞こえ戸惑うかもしれません。また、ルームメイトとのトラブルについて知り合いからよく話を聞くことがありましたが、自分が嫌だと思えることは素直に相手に伝えたほうが良いと思います。アメリカでは、黙っていても相手に伝わるという考えはあまり通用せず、黙っているということは納得しているんだと勘違いされることもあります。

犯罪などのトラブルで注意すべきことは？

在学中にキャンパス内での犯罪を見聞きすることはありませんでしたが、夜中はなるべく一人で出歩かないほうがいいと思います。また、アメリカでは21歳になるまで飲酒は認められておらず、未成年飲酒が見つかった場合は日本よりも厳しく処罰されます。

その他、困ったこと、苦労したこと、驚いたこと等、自由に記入してください。

アメリカの大学では学生の授業への積極度が高いと聞いていましたが、確かにそれで、授業内では多くの学生が積極的に発言します。授業内ではどんな意見であっても尊重される雰囲気がある一方で、中には話し出すと止まらない学生も少なからずおり、担当教員もあまり学生の発言を止めるようなことはしませんでした。時には学生の発言によってテーマが大きく逸れ、予習してきた内容が扱われないまま授業が終わってしまうこともあり、「せっかくがんばって予習してきたのに・・・」と落胆することもありました。

【留学後】

留学して、どのような力がついたと思いますか？

日々多くの予習や課題をこなす中で、計画的に物事を進める力が身についたと思います。また、少しでも興味があればとりあえずやってみようというチャレンジ精神も少なからずついたように思います。さらに、現地学生の個人主義的な考えに多く触れる中で、周りに流されずに自分の意思を貫く力も身についたと思います。

留学のメリット、デメリットについて記入ください。

留学のメリットは多種多様な人々や考えに触れて自分の視野が広がることだと思います。また、日本を離れ他の国で生活することで冷静に日本という国を見つめなおし、その良さや問題点、さらには国際社会における日本の立ち位置などを認識できることも挙げられます。留学を通して、短期間の海外旅行では得られないような学びや新たな発見を得られると思います。

デメリットは費用がかかることと卒業・修了の時期が遅れてしまうことなどが挙げられます。留学を終えて改めて実感していることですが、同じ年に入学した学友たちと一緒に卒業できないのはやはりさみしいものです。

今後の目標、将来の夢は何ですか？

将来は高校の英語教師を目指しています。留学生活で培った実践的な英語力や国際感覚を活かして、生徒の視野や可能性を広げることができる教員を目指します。

これから留学を希望する学生へ、その他アドバイスがあればお願いします。

留学には在学年数が伸びたり費用がかかったりと心配になる要素もありますが、留学を通して学業面だけでなく、日本には学べないことを様々な経験を通して学ぶことができます。最後に留学しようか迷っている学生のみなさんにお伝えしたいことがあります。それは留学においては「失敗」はないということです。留学生活では上手くいかないことや失敗してしまうことがあると思います。私も数々の失敗をし、日々上手くいかないことだらけで落ち込むことも多くありました。そんな中でも必ず学び取ることにはあります。留学中の失敗は「留学の失敗」を意味するものではありません。ある意味、留学を志した時点で「成功」と言えるかもしれません。

【ウェスタンカロライナ大学の様子】

